日本実験動物協同組合って

- 実験動物生産販売業者の組合として前身の日本実験動物生産販売業協会が設立（1970 年）され、農林水産省が実験動物を産業分類表中に畜産類似業として掲載したのを機に、中小企業等協同組合法人日本実験動物協同組合に改組し誕生（1972 年）しました。
- 現在も農林水産省管轄下で活動しており中小企業基本法・中小企業等協同組合法の要件を満たした協同組合です。
- 当組合員は中小企業庁によるセーフティーネット保証５号要件に該当し、中小企業に対する各種支援の対象となっています。

≪トピックス≫

★ 韓国型出血熱 KHF（現腎症候性出血熱 HFRS）への対応として KHF 特別対策委員会を立ち上げ（1978 年）、日本国内と韓国の関係機関とも協力して情報収集と検査体制を確立、定期的にラットコロニーの HFRS 血清抗体検査を実施する体制を整えた。このことは日本の実験動物の品質向上推進に大きな役割を果たした。

★ いわゆるカルタヘナ法への対応として、現在の（公社）日本実験動物協会と共同でＱ＆Ａ集を発刊（2005 年）し実務上の注意等の啓発活動を行い適正利用を喚起した。

★ 1977 年に初版発行し定期的に内容を更新していた「実験動物供給の現状」の内容をホームページに掲載を開始（2009 年）し、タイムリーな情報ツールとしてユーザーの実験動物購入時の利便性を向上させた。

★ 「実験動物のトラブルＱ＆Ａ－系統・種の特性に起因する事例から」を発刊（2011 年）し、動物納入時に遭遇する事例についての情報提供を通じて生体としての特性の啓発に努めている。